

令和5年度 社会福祉法人光風会 事業報告

昭和63年4月社会福祉法人光風会を設立、介護老人福祉施設やまもも荘が開設して35年が経ちました。やまもも荘は開設当初からデイサービスセンターを併設し、その後、在宅介護支援センター、ホームヘルプステーション、ケアハウスやまもも、グループホームやまもも、小規模多機能型居宅介護施設、令和2年4月地域密着型小規模介護老人福祉施設を開設し、4年目になります。

令和2年から新型コロナウイルス感染症が世界中で蔓延し、3年を経過しました。コロナ禍の時は、法人各施設と事業所を中心に利用者様への感染防止に全力を注いでまいりました。今年度も、利用者様に細心の気配りを怠らず、状況を見ながら行事やサービスを実施してまいりました。

認知症カフェ、認知症の方やご家族、地域の皆様の相談、認知症サポーター養成講座、地域の奉仕活動など地域に出向くことが十分にはできませんが、地域に貢献することに取り組んでまいりました。

看取り介護においては、ご家族の気持ちに寄り添い感染予防対策を徹底し、面会の機会をもち、リフォームした静養室にてご家族と一緒に最期を迎えられるように対応してまいりました。

社会福祉法人光風会としては、事業所の現状確認、実現のための課題の確認、その課題を解決するために目標を設定し、今年度もケアの質を落とすことなく事業所の力を発揮し、在宅医療・介護連携の充実、認知症施策の推進、生活支援サービスの充実・強化に努めてまいりました。

また、安全で質の高い医療・介護サービスを確保するために、担い手である職員と家族の安全を守り、感染症拡大防止策を徹底しつつ、サービスの継続・質の向上を図ってまいりました。また、介護職員の担い手不足が上げられています。介護サービス事業所では高い専門性を有する人材の確保が従来に増して大きな課題となっております。

職員のストレスについては、ストレス程度を把握し、自身のストレスへの気付きを促すとともに、職場改善につなげていきました。働きやすい職場づくりを進めることでメンタルヘルス不調となることを未然に防止すること（一次予防）を目的として今年度も、職員全員を対象にストレスチェックを実施してまいりました。

今年度は、利用者様が集まっての行事ができるように、事業所ごと個別に行事を開催し、笑顔で生活ができる環境作りを考えてまいりました。

これからも、利用者様本位のサービスをすべての職種全員で協力して提供し、利用者様、ご家族が安心して楽しく生活することができる施設を目指してまいります。

光風会の各事業所とも特段の苦情はなく、苦情解決委員会を開催し、第三者委員の出席をいただき、報告を行ないました。